秋田県単位型緩和ケア研修会の標準単位表

区分	研修内容	単位
	41151 170	(時間)
	 がん性疼痛の機序・評価・WHO方式によるがん性疼痛治療法の	0.5単位以上
1	概略【講義】	(45分以上)
_	(プレテスト・解説を含む)	(10), 5(11)
2	がん性疼痛の治療法の実際【講義】	0.5単位以上
	(プレテスト・解説を含む)	(45分以上)
	がん性疼痛について【ワークショップ】	2単位以上
	(参加者の緊張を解くことに配慮し、「アイスブレーキング」	(180分以上)
	を効果的に使うこと。)	
	ア グループ演習による症例検討(1)	
	・がん性疼痛を持つ患者の評価と治療	
3	イ グループ演習による症例検討(2)	
	・がん性疼痛に対する治療と処方の実際	
	ウ グループ演習による症例検討(3)	
	・医療用麻薬を処方する際の障害の検討	
	エ ロールプレイングによる患者への説明	
	「医療用麻薬の誤解を解く」、「医療用麻薬の副作用と対策	
	の説明を行う」等	
	呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア【講義】	0.5単位以上
4	(プレテスト・解説を含む)	(45分以上)
	不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア【講義】	0.5単位以上
5	(プレテスト・解説を含む)	(45分以上)
	がん医療におけるコミュニケーション技術【講義】	0.5単位以上
6	(プレテスト・解説を含む)	(45分以上)
	がん医療におけるコミュニケーション技術【ワークショップ】	1.5単位以上
	アーグループ討論による患者への悪い知らせの伝え方につい	(120分以上)
7	ての検討	(===);
	イ ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方に	
	ついての演習	
8	全人的な緩和ケアについての要点【講義】	0.5単位以上
		(45分以上)
9	放射線療法や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへ	0.5単位以上
	の依頼の要点【講義】	(45分以上)
10	がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点【講義】	0.5単位以上
		(45分以上)
11	在宅における緩和ケアについての要点【講義】	0.5単位以上
		(45分以上)
計	※ 「8」~「11」については、他の研修内容と併せて実施して	8単位以上
	も可。	(720分以上)